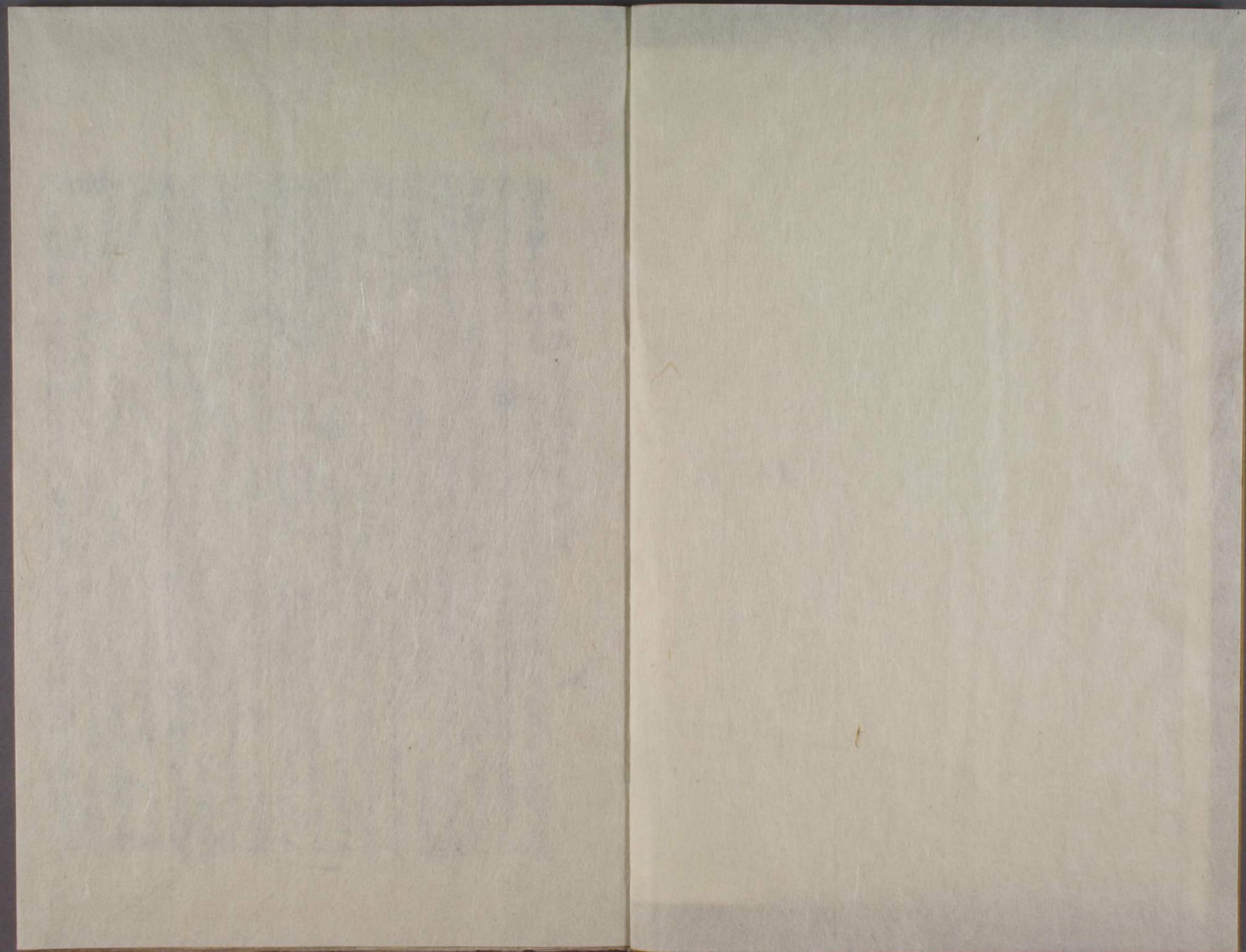


洋学文庫
文庫8
A 344





東境の山を、海と港にやがて

あつた後年十

十字川の隈に、とて東鏡の百あす

のよく、あつた子に、あつた

あつた、とてあつた

すゝに、鎌倉の比、十字と、あつた

あつた、とてあつた、十字、あつた

